

製品名: CAPON ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86861**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:20-1:50, FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:56 kDa; Observed MW:56 kDa

抗原情報

遺伝子名	CAPON
別名	CAPON; 6330408P19Rik
遺伝子 ID	9722
SwissProt ID	O75052
免疫原	ヒト CAPON の合成ペプチド

背景

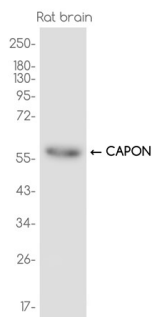
この遺伝子は、シグナル伝達分子である神経型一酸化窒素合成酵素（nNOS）に結合する細胞質タンパク質をコードしています。この

タンパク質は、nNOS との相互作用を媒介する C 末端 PDZ 結合ドメインと、小型単量体 G タンパク質である Dexras1 に結合する N 末端リン酸化チロシン結合 (PTB) ドメインを有しています。マウスおよびラットの関連タンパク質の研究により、このタンパク質は nNOS を Dexras1 やシナプシンなどの特定の標的に連結するアダプタータンパク質として機能することが示されています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2009 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



CAPON ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してラット脳細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。